



献立を立ててから買い物に行こう。食材の無駄も減らせるし、家計にも優しいよ。

計画的な買い物を心掛け、食べきれずに捨ててしまうものを減らしたり、詰め替え商品や包装の少ない商品を選んだりするなど、身近なことからごみの減量を始めてください。生ごみの水分をギュッと絞るだけでもごみの減量につながります。

「減らす」
ごみになるものを



たとえば、子ども服・おもちゃなどの子ども用品を町勤労福祉センター（エスペランス丸山）で定期的開催されている「子ども用品リユース市」に出すこともできるよ。開催日時は広報あぐいで告知するので確認してね。

繰り返し使用できるものを選び、修理をして長く使うことを心掛けてください。使わなくなったものをフリーマーケットやリサイクルショップに出すなどして、必要としている誰かに再び大切に使用してもらうことで、ごみの減量につながることができます。

「再利用」
ごみいせぬ

あ！

燃えるごみの中にペットボトルを発見。シャンプーなどのボトル類やカップラーメンなどのカップ類など、プラスチック製容器包装（廃プラ）はきちんと分別しよう。

ひと手間かけて、正しく分別することで、そのまま捨てるとごみになってしまうものが大切な資源に生まれ変わります。生ごみを堆肥化して、家庭菜園や花壇などで肥料として利用することもごみの減量につながります。

「再生利用」
ごみから資源への



廃プラ袋 値下げ しています

ごみ減量化対策のひとつとして、燃えるごみの減量とリサイクルの推進を目的に、プラスチック製容器包装収集袋（廃プラ袋45リットル・70リットル）を値下げしています。燃えるごみの中には、まだまだプラスチック製容器包装（以下廃プラ）が含まれています。その廃プラを資源としてリサイクルすることができれば、家庭系ごみの減量につながることから、今まで以上に資源として出していただけるように廃プラ袋を値下げしています。分別の徹底や汚れを落とすなどして、廃プラのリサイクルに協力してください。

※ 平成30年7月1日から、ごみ袋販売店への販売価格を改定しています。

